

和紙がひとひら

重なっていくたびに

ひとひら

積もってゆくごとに

顕になるのは

畏怖の肖像

別の像を見出そうとしても

ひとひら

白木が彫り進められるように

逃げ場もなく確かになるのは

熱情の偶像

驟雨に煙るように

寄る辺なくたちあがってくるのは

ひとひら

わたしのころの形状

わたしの輪廻

の象徴